



## 田中儀太郎氏頌徳碑の 説明看板を設置

人権センターに田中儀太郎氏の頌徳碑が建立されているのをご存知ですか？

田中儀太郎氏は、昭和3年に亡くなられましたが、部落差別解消の先覚者として、当時の三栄地域のよき理解者であり指導者でもありました。これらの感謝を表すため、当時の三栄地域の開墾組合により、頌徳碑が建立されました。



昨年度、日野上地域からの要望

を受け、今年3月に、頌徳碑の説明看板を設置しました。

矢戸出身の田中儀太郎氏は、その生涯をかけて上三栄部落のよき指導者でした。若いころは、矢戸尋常小学校に上三栄部落の子どもが一人も在籍していないことを知り、出井富五郎校長と村を歩き、上三栄部落の子どもたちの入学を認めるよう村人を説得しました。そして、明治二十六年上三栄部落の子どもの小学校への入学を実現させました。また、地域の改善にも力を注ぎました。副業を勧めたり、日野川の河川敷を開墾して水田を作る計画を立て、国や町からの補助金を受けるよう働きかけたり、河川敷の払い下げを国に要望したりと、上三栄部落の人たちの生活の向上のために力を尽くしました。

開墾事業は昭和六年に完成しましたが、田中儀太郎氏は、昭和三年開墾事業半ばで病気のため六十歳で亡くなりました。

私たちは、田中氏への恩を忘れず、この先ずっとこれらの功績をたたえていきます。

## 第1回ふれあい人権講座

### ○アイヌ民族の文化と歴史

4月11日に、後藤厚見さんと伊田哲朗さんを講師としてお迎えし、紙芝居と講演を行いました。

### ○受講者の感想

・日本は多様な豊かな文化がある国である、あらためて知った。アイヌの文化も、自然に敬意を持つ東洋の文化で、親しみを感じた。  
・アイヌを含め、同化政策により独自の文化や尊厳を奪われてきた民族は多い。また、そこには差別や偏見も生まれてきたことだろう。民族の自立を求める闘いは、差別との闘いと大きく重なっていると感じた。

## お知らせ

### ○第3回ふれあい人権講座

「映画『みとりし』の上映と  
看取り士の講演(仮称)」

■日時 6月6日(木)  
午後5時30分から

■会場 日南町役場防災会議室  
■講師 大橋敬子さん



(みとりステーション鳥取 ステーション長) 「看取り」とは、死を間近に迎える人が、自然に亡くなるまでの過程を見守ることをいいます。映画「みとりし」は、残される家族は、それをどう受け止めるのかということテーマにした映画で、当日はこの映画の上映と講演をします。申込みは不要です。お誘い合わせのうえお越しください。

### ○6月の人権・行政相談所

■日時 6月14日(金)  
午前9時〜正午  
■会場 子育て支援センター

人権や行政の仕事に関する相談を人権擁護委員・行政相談委員が無料でお受けします。予約は不要ですので、お気軽にご相談ください。

